



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

大学院セミナー

生田 宏一先生

(京都大学ウイルス研究所・教授)

リンパ組織におけるIL-7産生細胞の 分布と機能

2010年2月15日(月) 16時-17時
加齢医学研究所 セミナー(1)

IL-7はリンパ球の分化と維持に重要なはたらきをしている。しかし、リンパ組織におけるIL-7産生細胞の分布と機能については不明の点が多い。我々は、最近IL-7-GFP knock-inマウスとIL-7-floxedマウスを用いてこの問題にアプローチしている。IL-7-GFPマウスでは、骨髄ストローマ細胞、胸腺上皮細胞、腸管上皮細胞とともに、リンパ節やパイエル板のT細胞領域ストローマ細胞やリンパ管内皮細胞でGFPが発現していた。また、IL-7-floxedマウスとFoxN1-Creマウスを交配し、胸腺上皮細胞でIL-7遺伝子を破壊すると胸腺細胞の数が1/15に減少したことから、胸腺上皮細胞が産生するIL-7が胸腺細胞の増幅と生存に大きなはたらきをしていることが明らかとなった。本セミナーでは、IL-7ニッチという免疫系微小環境に関する最新の知見を紹介したい。

参考文献

Maki, K. and Ikuta, K. MEK1/2 induces STAT5-mediated germline transcription of the TCR γ locus in response to IL-7R signaling. J. Immunol., 181:494-502. 2008.

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 佐竹 正延
(加齢医学研所免疫遺伝子制御研究・内線8481)